

感謝報恩

～ありがとうの想いで明るい未来を創ろう～

小刻みに体が震えていた。

2012年1月のある日のこと。その日は雪が降るような特段寒い日ではなかった。例会場の扉を開けた瞬間の眩い光、凜とした張り詰めた空気。今まで経験したことのない雰囲気へのまれ、緊張に襲われていた。そんな中で執り行っていたいただいた入会式。この世界でやっつけられるだろうか…不思議とそういった不安は一切無く、青年会議所に誘っていただけたことに感謝し大変有り難く感じたことをはっきりと覚えている。

青年会議所活動をする中で、立ち居振る舞いや人との接し方、時間の使い方や事業の組み立て方を先輩方に教えていただき、また自らが経験し勉強させていただきました。

今の自分があるのは伊東青年会議所のお陰であります。精一杯の恩返しをしたい。

「当たり前」ではないこの境遇に感謝の心を持ち、次代を担う同じ志を持ったメンバーに伝え、より良い伊東青年会議所を築いていくことが私の役割であると考えます。

1949年に「新しい日本の再建は我々青年の仕事である」という志のもと、「英知と勇気と情熱」を持った青年有志によって、青年会議所活動が始まりました。それから8年後の1957年、創始の志を受け継がれた先輩方の想いのもとに伊東青年会議所が創設され、本年度で64年目を迎えました。創設以来「明るい豊かな社会」の実現を目指し、先輩方は並々ならぬ努力と情熱を注ぎこんで活動してこられ、現在の伊東青年会議所を築き上げて下さいました。今の私たちがこの場にいること、活動できていることは決して「当たり前」ではありません。「英知と勇気と情熱」を持った青年有志がいたから、そして先輩方の弛まぬ努力で築き上げてきてくださった伊東青年会議所があるから今の私たちがこの場にいます。先輩方の培ってこられた伝統と誇りを胸に、深い感謝の心を持ちより良く発展させる為に努力を惜しまず活動を邁進することこそが、さらなる「明るい豊かな社会」を創り先輩方の想いに報いることだと確信しております。

近年報道でよく耳にする若年者の数が低下し、高齢者の割合が上昇していく少子高齢化という問題のように、私たち伊東青年会議所においても会員数が減少し運営が厳しくなってきたのも例外ではありません。メンバー一人ひとりの役割が多くなっている状況も

あるのかもしれませんが。しかしながら、そのような時代であっても青年会議所活動を理解して送り出してくれる会社や家族がいて、応援してくださっている地域がある。そういった取り巻く環境全てに私たちは感謝しなければなりません。

そんな皆様の恩に報いる為にも、私たちは一つひとつの事業を地道に、情熱を持って行い時には共に参加していただき、またそれらを発信することが重要であると思います。実施する様々な事業に誇りを持ち皆様に伝えていけば、その一步が会員拡大にも繋がると考えます。

私が「JCが好きだ」と感じるようになったのは、多くを学ばせてくださった先輩方がいて、切磋琢磨した仲間がいたからです。決して楽しいことばかりではなく、本気でぶつかり合い、涙を流し苦難を乗り越えてきた仲間がいたから「JCが好きだ」と言えることができるのだと思います。

昨年に続き拡大の心を継続し、私が先頭に立ち一年間走り続けます。

より明るい未来を創るために、「有り難い」境遇に感謝の心を持ち、ひたむきに力の限り活動してまいります。

48年という長きに渡り受け継がれてきたJC旗争奪ジュニアサッカー大会。私もこの大会の参加者だった一人であります。仲間とボールを追いかけ楽しかったこと、試合に負けてしまって仲間と涙を流した記憶。その1コマ1コマを鮮明に覚えています。先輩方が築いてこられた伝統と志をしっかりと引き継ぎ、今度は私たちが子どもたちに感動を与えられるようなより魅力ある大会運営をし、青少年の育成に努めてまいります。

また、2018年に「にぎわいの創出」をテーマとして伊東市より補助金をいただき実施している事業、JCフェスタが今年で3年目を迎えました。

伊東青年会議所の活動を応援してくださっている皆様の期待に応えられるよう、我がまち伊東の魅力余すことなく発信し、観光客、伊東市民が楽しんでいただけるような事業を築き、伊東青年会議所に託された想いを理解し、愛すべきまちにさらなるにぎわいを創出できるような運営を目指します。

心を込めて必死に情熱を持って行動すれば、その心が皆様にもきっと届き、「良かった」と感じていただけるはず。またその思いが「ありがとう」という気持ちを生むものだと信じて、先頭に立ち突き進んでまいります。

ありがとうとは、「有り難い」「有ることが難しい」めったにないことを言います。その反対語は何か。それは「当たり前」です。

妻なんだからそれくらいして当たり前。親なんだから子どもを養って当たり前。目が見え手足が動き生きてることが当たり前。今ある環境が当たり前。

知らず知らずのうちに私たちは日々の生活を「当たり前」と感じ生きているのではない

でしょうか。

もし自分の両親が…祖父母がいなかったら…。もし伊東青年会議所の先輩方がいなかったら…。私たちは現世に生まれることも、青年会議所活動もできなかったということになります。この「有ることが難しい」様々な条件が揃って今の私たちがいることに感謝の心しかありません。

先輩方が伊東青年会議所を創設し現在まで築き上げてくださったこと、様々なことを学び経験させていただき今私がこの場にいること、全てに感謝の心を持ち全力で青年会議所活動に取り組んでまいります。

感謝の心を忘れずに恩に報います。明るい未来を創るために。

【基本理念】

受け継がれてきた歴史に感謝し
明るい未来を創るために、率先して行動する

【基本方針】

- ・青年会議所活動を幅広く行うための会員拡大
- ・メンバー同士交流し絆を強める
- ・メンバー一人ひとりの資質の向上
- ・青少年の豊かな心を育む
- ・青年会議所活動を地域に広く発信する
- ・家族と仕事そしてJCをバランス良く活動する
- ・感謝の心を持ち全力で行動する

【運動方針】

事務局室

円滑な組織運営を行う

- ・例会運営の統括
- ・理事会運営の統括
- ・出向者報告会 10月例会アワー

地域活性委員会

にぎわいの創出事業 JC フェスタの開催

地域との繋がりを通じてまちの発展に尽くす

- ・3分間スピーチ
- ・とうかい号乗船者募集
- ・とうかい号歓送迎
- ・JC フェスタ 2020 告知
- ・JC フェスタ 2020
- ・伊東の魅力をクリエイティブに伝えよう 4月例会アワー

広報渉外委員会

伝統あるサッカー大会の実施

地域や LOM 内外に JC の活動を余すことなく発信する

- ・JC ニュースの編集及び発行
- ・ホームページの運用・管理
- ・他 LOM、他団体の窓口業務
- ・第 48 回 JC 旗争奪ジュニアサッカー大会
- ・坐禅～精神統一～ 7月例会アワー
- ・SDGs を学ぼう 11月例会アワー
- ・卒業式